

先端研究基盤共用促進事業（先端研究設備プラットフォームプログラム）

中間評価結果

機関名	研究用 MRI 共有プラットフォーム
事業概要	国内有数の先端的な研究施設・設備について、その整備・運用を含めた研究施設・設備間のネットワークを構築し、全ての研究者への高度な利用支援体制を有する全国的なプラットフォームを形成することで、我が国の研究開発基盤の持続的な維持・発展に貢献することを目的とする。当プラットフォームでは全国に点在する研究用 MRI 設備を高度なデジタル化により集約し、現実空間と仮想空間を統合することで、複数の大学・施設により構成される「研究用 MRI 共有プラットフォーム」の形成を実施する。
評定（総合評価）	コメント
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラットフォームとして要求される体制整備が、計画を上回るスピードで順調に進捗している。</li> <li>・新聞等での報道に繋がる一定の成果が出ている点も評価に値する。</li> <li>・7つの拠点それぞれが得意分野に注力している点は非常に素晴らしい。</li> <li>・コンサルティング機能をさらに向上させ、プラットフォームとしての成果をさらに拡大させるなど、事業発展を期待する。</li> <li>・更なる国際的な連携や民間企業との連携、また、我が国の7割以上を占める専門人材育成についての体系的な仕組み作りを期待する。</li> </ul>
評定（個別評価）	
① 進捗状況	コメント
a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切に戦略を設定・実施できている。総利用件数、リモート利用件数、収入、成果ともに増加し、実施計画及び工程表を大きく上回る進捗であり、順調な進捗状況にある。事業終了後の自走化に向けて、今後の更なる進展が期待される。</li> </ul>
② 実施体制	コメント
a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点としての役割を明確化し、運営委員会を定期的開催するなど、目標達成に向けて事業管理が図られている。当初計画を超えた協力機関の拡充、7研究拠点毎に得意分野の支援を行うなど創意工夫に富んだ進捗が見られる。</li> </ul>
③ 研究施設・設備の連携	コメント
a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使いやすいポータルサイトを構築し、チュートリアルや利用事例、成果実績が適切に公開され、若手研究者向けの支援（無償化など）や、疾患モデル一覧のポータルサイトへの掲載による利用者の計画立案の便も図られている。パンフレット作成や関連学会でのシンポジウム開催により利用者の幅を広げる活動が自ら実施されている。</li> <li>・協力機関である民間企業と連携してリエゾン機能を持たせ、設備運営や機器設計</li> </ul>

	<p>の助言などを得ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、国内外の研究者が集うネットワーク型共用拠点としてのメリットを活かし、世界に誇れるモデルケースとなるような取組を大きく期待する。</li> <li>・望まれる取組として、積極的な民間企業との連携による機器開発等を期待する。</li> </ul>
④ 遠隔化・自動化等に係るノウハウ・データの共有	コメント
a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠隔利用体制が整備され、活用も順調に増えている。動画チュートリアル製作と公開も効果的であり、更なる充実を期待する。</li> <li>・データ・セキュリティポリシーを策定、毎年見直しを行うなど、慎重な運用がなされている印象を受けた。</li> <li>・同一対象物から得られた異なった計測データの共有／標準化が推進されており、データ利活用の更なる増加を期待する。</li> </ul>
⑤ 専門スタッフの配置・育成	コメント
a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各機関に技術指導員を配置し、他機関への訪問や遠隔実験サポートによる育成が実施されている。</li> <li>・今後、体系化された専門人材育成の仕組み作りや、コアファシリティ事業実施機関との連携によるオールジャパンの取組に期待する。</li> </ul>
⑥ 資金計画	コメント
a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用料収入は順調に増えており、自立的な運営に向けて挑戦がなされている印象である。今後は、民間企業の潜在的なニーズの掘り起こしや、人材の具体的な雇用計画（職種、人数、期間等）が課題となると思われる。</li> </ul>
⑦ その他の政策との連携	コメント
a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共用ガイドラインを積極的に活用している。</li> <li>・ARIM、コアファシリティプログラム等との連携が図られている。</li> <li>・今後は、分野融合や新領域拡大、スタートアップ支援など、連携が拡大することを期待したい。</li> </ul>
備考	なし